

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

| 学 校 経 営 中 期 取 組 目 標 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○魅力ある分かる授業をつくり、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ります。 ○あいさつをはじめとした礼儀や規範意識を大切に、人権意識を育て、心身共に豊かな子を育てます。 ○自分を見つめ、自分の体に興味をもち、心身共に健康な体をつくろうとする子を育てます。 ○「横浜の時間」を中核に、異学年活動や地域とのふれあい活動を通して、地域の材を生かして学習を進め、地域を愛する子を育てます。 ○様々な人とのコミュニケーションを通して、社会への視野を広げる子を育てます。 |

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

| 重点取組分野 | 取 組 目 標 | 具 体 的 取 組 |
|--------|---|--|
| 豊かな心 | 全教育活動を通して道徳教育の充実を図り、人とのふれあいを大切に、いじめや差別を許さず正しい判断と責任感が醸成されるような人権意識を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ①全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。特に「特別の教科 道徳」の充実を図る。 ②健康教育を柱として、指導を行う。学校教育目標を具現化するため、「あいうえおの子ども（あいさつ・いのち・うんどう・えがお・おもいやり）」を合言葉として児童に分かりやすく意識づけする。 |
| 担当 | 道徳部 | |

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

- ・本校児童は、市生活意識調査の結果を見ると、学年を問わず平均値をより上回っている。全体的には、落ち着いて学習に取り組み、人とかかわることが好きで、地域行事にも参加している。また、自己肯定力が強く、自分には、よいところがあることを認め、もっとよくなりたいという気持ちがある。欠席する児童も少なく、明るく元気に友達と遊んだり学習したりして過ごす児童が多い。
- ・指示されたことはできるが、自ら積極的に行動しやり遂げる力が弱い面がある。
- ・保護者や地域は協力的で、住環境に恵まれている。放課後は、スポーツ系の習いごとに通っている児童と通っていない児童の二極化傾向にある。学習塾等に通い、時間的ゆとりのない児童が多い。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「特別の教科 道徳」の充実

- ・「考え、議論する道徳」に向けて、問題解決的な学習や体験的学習など多様な方法を取り入れた指導、他の教育活動と組み合わせた指導、振り返りの工夫に努める。
- ・全学級の道徳授業公開を年1回以上実施する。
- ・道徳研修会・授業研究会等を実施し、「特別の教科 道徳」の指導力向上を図る。

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・「児童理解研修会」を定期的に行い、「配慮を要する児童」のカルテを作成して活用し児童理解・支援・指導に役立てる。
- ・「Y-P アセスメントシート」を活用した、子どもの社会的スキル横浜プログラム「個からそだてる集団づくり」を実施し、児童面談をして個に寄り添い一人ひとりを大切にする。
- ・年間人権目標を各学級で4月～6月の間に設定し、年間を通して取り組む。